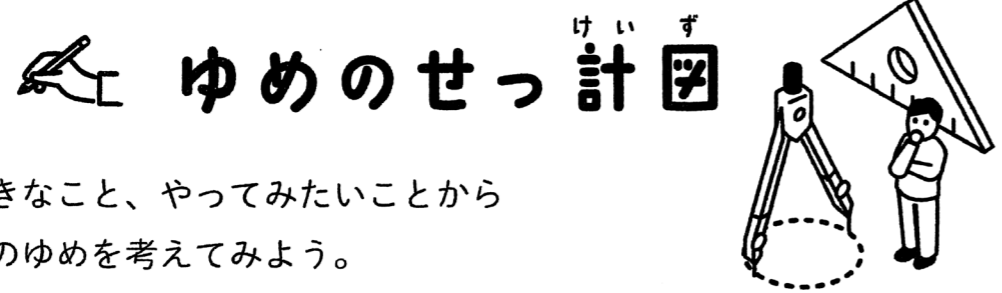


低 ワークシート 76 3年3組 名 飯間 有澄



自分の好きなこと、やってみたいことから
しょう来のゆめを考えてみよう。

好きなもの・
好きなこと
医学のテレビ番組。
図かんを読む・
絵をかく。

大人になったらやりたい仕事
医学を伝える絵本作家
その仕事でやりたいこと
新しい病気の治し方を
絵本で分かりやすく
せつ明する。

ゆめをかなえるために、これからがんばること

小学校	上の学校	大人
<ul style="list-style-type: none"> 理科のべんぎょうをする。 色々な図かんを読む。 たんきんスクッチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 医学を研究するために医大へ行く。 体の部位やさいほうの絵をか。 	<ul style="list-style-type: none"> またたれも治したことかない病気を治ほうする。 医学を絵本で楽しくせつ明する。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

医学を伝える絵本作家

筑波大学附属小学校 三年 飯間 有澄

私はしょう来、医学を楽しく伝える絵本作家になります。その夢を持つようになったのは、幼稚園の年中のころにいた絵を、友達からほめられてうれしくなり、それから毎日のように色々な絵をかくようになっていきました。そして、年長になつてからは絵本をかくようになりました。そのときは、新がたコロナウイルスがはやっていたので、「コロナウイルスってなに？」という絵本もかきました。ここでは、感せんよぼうとして、手あらいやうがいが大切なことなども物語の中で説明しました。医学にきょうみを持ち始めたのは、この時からでした。

医学というとてもむずかしいと思いますが、けがや病気をしたら、どうするかを絵本で読んだことがあります。それは子供でも読める分かりやすい本でした。そして私が、はな血を出した時に、そこにかいてあったことを思い出して、は

なをつまんで安せいにしていたら止まりました。その本には、「はな血の九十%ははなの内がわにある血かんがやぶれることと出る」とかいてあり、その内がわのかべは「キーゼルバツハ」という人の名前がついているのも面白いと思いました。このように医学の面白さを、絵本で伝えることができたなら、みんなのやくに立つと思います。そのために今からできることは何か、この作文を通して考えてみました。たとえば、もつと絵が上手くなるように練習したり、図かんをもつと読んだり、理科のじゆぎようもがんばりたいです。そして、医学の絵本をかきながら、医しゃにもなりたいです。なぜなら、今はまだ治し方が分からない病気も治せるようにけんきゆうをして、新しい治りよう法を発見します。それを分かりやすく絵本で伝えて、こまつている全ての人に、読むだけで治し方が分かつたり、病気にならないための予ぼうをしてもらえたら、うれしいです。